

令和4年度
事業報告書

令和5年6月

一般社団法人北中城村観光協会



北中城村観光協会
Kitanakagusuku Tourism Association

目次

I	事業総括	
1	令和4年度事業計画	・・・P2
2	事業総括	・・・P4
II	実施報告	
1	北中城村委託「観光プロモーション事業」	
(1)	観光案内業務	・・・P6
(2)	北中城村観光情報ポータルサイトリニューアル及びオンラインショップ運営	・・・P7
(3)	LINE 法人アカウント活用業務	・・・P9
(4)	マーケティング業務	・・・P10
(5)	観光案内冊子作成業務	・・・P11
(6)	観光情報アクセスポイント整備	・・・P12
(7)	観光インフラ委員会	・・・P13
(8)	地域ブランディング業務	・・・P14
(9)	観光推進委員会開催	・・・P15
(10)	有償ボランティアガイド・民泊事業化調査	・・・P16
(11)	ウェルネス・サステイナブル推進業務	・・・P17
(12)	イベント・キャンペーン実施	・・・P19
(13)	ノベルティ制作	・・・P21
(14)	地域連携事業	・・・P22
(15)	スタジオキタナカ運営管理業務	・・・P23
2	DX事業	
(1)	地域情報発信強化（SNS強化）	・・・P24
(2)	スタジオキタナカ新企画	・・・P25
3	ウェルネス・サステイナブル事業	
(1)	北中城村委託「ウェルネスツーリズム推進事業」	・・・P26
4	連携事業	
(1)	協会会員数	・・・P29
(2)	ふるさと納税新商品開発	・・・P30
(3)	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」	・・・P31
(4)	観光庁「ワーケーション推進事業（企業と地域によるモデル実証事業）」	・・・P32
5	地域事業	
(1)	北中城村観光協会評価アンケート	・・・P33
(2)	会報誌発行	・・・P35
(3)	インターンシップ受入	・・・P36
(4)	地域通貨販売窓口事業	・・・P37
(5)	北中城村民ゴミ袋配布に伴うオリジナル段ボール制作事業	・・・P38
III	組織管理	
1	組織管理	
(1)	理事会実施	・・・P39
(2)	経営会議実施	・・・P40
(3)	人材育成	・・・P41
(4)	DMO登録	・・・P42
2	事務局運営体制	・・・P43
IV	収支決算	
1	収支決算	・・・P44

I 事業概要

1 事業総括

(1) 令和4年度事業計画

経営方針に基づき、北中城村の観光誘客プロモーションを推進し村内飲食店や観光施設等へ誘客することで、「観光消費額」「入域者数」「観光客満足度」を向上させ、観光を通じた地域の発展に貢献するため、以下の事業を最適なバランスで実行する。

① マーケティング

- ・マーケティングデータ収集 (DMO¹登録要件)
- ・観光推進委員会の実施
- ・地域ブランディング新企画2本
- ・デジタルマーケティング実施

② DX (デジタルトランスフォーメーション)

- ・オンラインショップ立ち上げ
- ・WEBサイト「きたポ」リニューアル
- ・地域情報発信強化 (Twitter、Facebook、Instagram、You Tube 等)
- ・ネットプロモーションサポート事業化
- ・スタジオ新企画実施3本
- ・スポンサードによるe-スポーツ大会開催

③ ウェルネス・サステイナブル

- ・ウェルネス推進会議立ち上げ
- ・ウェルネス・サステイナブル新企画1本
- ・ウェルネス商品開発2本

④ シェア&コラボレーション (連携)

- ・協会会員増
- ・ふるさと納税商品開発3本
- ・連携事業 (会員間1本、地域間1本) 2本
- ・観光案内所運営 (土日祝含む)
- ・新規受託開拓 (観光庁、県、OCVB、保健医療福祉事業団等)
- ・中部観光協会事務局長会議の定例化
- ・パークマネジメント等調整

¹ DMOとは、観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。Destination Management/Marketing Organization (デスティネーション・マネージメント/マーケティング・オーガニゼーション)の頭文字の略。(JTB総合研究所HPより)

- ・ノベルティグッズ作成1商品以上
- ・イベント・キャンペーン実施2回

⑤ 組織管理

- ・職員採用
- ・組織体制再編（チーム制、役職見直し）
- ・各チーム KPI 設定
- ・規則・規定充実
- ・経理事務マニュアル作成
- ・職員1名出向検討（以後1年ごとに1名出向）
- ・職員研修の立ち上げ（沖縄観光キャリアカレッジを活用）
- ・DMO 登録
- ・北中城村祭り運営、指定管理受託等検討
- ・観光施設管理運営受託検討

⑥ 地域戦略

- ・観光協会評価アンケート実施
- ・会報誌発行
- ・役場、自治会、中村家、理事、近隣観光協会へのあいさつ回り

また、令和4年度の組織の KPI（重要業績評価指標）として、以下の4つを設定した。

- ① 繰越金について、大型投資時期まで原則2,500万円から減じないようにする。
- ② 自主事業について、1,900万円を売り上げる。
- ③ 各種の観光データについて数値を把握し、「観光客数と観光収入」「マスメディア（新聞等）露出件数、SNS フォロワー数」「会員からの評価」を向上させる。
- ④ DMO 登録

(2) 事業総括

職員のコミュニケーション活性化や主体性向上を目指し、組織体制を担当制（各事業について主担当・副担当を設定する体制）からチーム制（組織を事業・WEBチームとスタジオチームに分け、一定の裁量を持たせる体制）へ変更した初年度となった。チーム制により話し合いの活発化は見られたものの、役割分担の混乱なども見られ、年度途中での事務局長の交代もあったことから、一部事業の遅れや休止へとつながった。

観光情報ポータルサイトリニューアル、観光案内冊子作成、中村家住宅でのウェディング、eスポーツ大会開催、北中城村初のコスプレイベント「きたコス」開催など、令和3年度と同様に職員が主体性・責任感を持って粘り強く取り組んだ事業で成果をあげた。

一方で、SNSフォロワー増、マーケティング情報収集、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」、体験商品等の開発といった協会内部の連携や外部への説明責任が不足していた事業については、遅れや成果不足があった。

また、チーム性のより職員間の業務のバランスの偏りも見られた。

組織内部においては、年度途中での事務局長交代となったが、事業に混乱を起こすことなくスムーズに体制変更を行うことができた。また、会報誌の隔月発行やメールマガジン強化など、会員への説明責任を果たす取り組みも強化した。加えて、情報共有、組織内連携及び観光のプロ職員化を強化するため、月1回の職員全体会議、週1回のマーケティング・企画会議を開催するとともに、積極的に外部研修へ参加させた。

KPI達成状況は以下のとおりである。

- ① 繰越金について、大型投資時期まで原則2,500万円から減じないようにする。

⇒約100万円の黒字となり、繰越金を維持した。

- ② 自主事業について、1,900万円を売り上げる。

⇒北中城村からの補助金や北中城村からの受託である観光プロモーション事業を除くと約2,000万円の売上となったが、補助に対して支出の方が多いため公募事業等もあり、財務にネガティブな要因となった。

- ③ 各種の観光データについて数値を把握し、「観光客数と観光収入」「マスメディア（新聞等）露出件数、SNSフォロワー数」「会員からの評価」を向上させる。

⇒「観光収入」については準備の遅れにより年度後半に収集を開始したため、評価できない。「観光客数」については地続きの沖縄本島で入域者数を把握することが困難であり、費用対効果の点から収集方法を検討する必要がある。「マスメディア（新聞等）露出件数」では、令和3年度「マスメディア（新聞等）露出件数」を計測していないため、評価できない。「SNSフォロワー数」「会員からの評価」については、以下のとおり。

	令和3年度末	令和4年度末
SNSフォロワー数	11,498	13,053
会員からの評価	肯定的評価 52.7%	肯定的評価 85.2%

- ④ DMO登録

⇒令和4年10月28日付で候補DMOへ登録された。

II 実施報告


令和5年度事業総括表


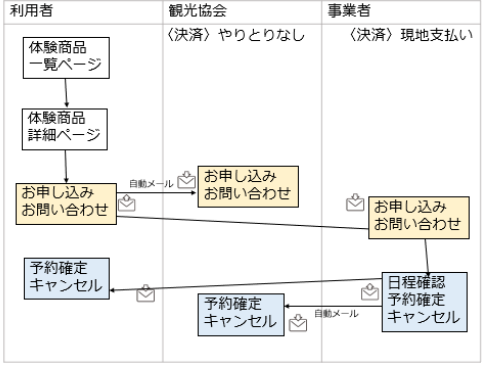
分類	事業名	期間	支出額	達成度
1. 北中城村委託「観光プロモーション事業」				
	(1) 観光案内業務	年間	¥0	★★
	(2) 北中城村観光情報ポータルサイトリニューアル 及びオンラインショップ運営	年間	¥5,299,000	★★★
	(3) LINE法人アカウント活用業務	年間	¥66,000	★★
	(4) マーケティング業務	年間	¥4,176,120	★★★
	(5) 観光案内冊子作成業務	年間	¥1,922,800	★★★
	(6) 観光情報アクセスポイント整備	年間	¥1,496,616	★★
	(7) 観光インフラ委員会	年間	¥32,354	★★
	(8) 地域ブランディング業務	3月5日	¥1,131,407	★★★
	(9) 観光推進委員会開催	—	—	★
	(10) 有償ボランティアガイド・民泊事業化調査	年間	¥400,000	★★
	(11) ウェルネス・サステナブル推進業務	年間	¥1,299,750	★★★
	(12) イベント・キャンペーン実施	11月12・13日	¥1,709,000	★★
	(13) ノベルティ制作	年間	¥2,000,000	★★
	(14) 地域連携事業	年間	¥42,869	★★★
	(15) スタジオキタナカ運営管理業務	年間	¥2,608,170	★★
2. DX事業				
	(1) 地域情報発信強化（SNS強化）	年間	¥15,071	★
	(2) スタジオキタナカ新企画	年間	¥1,554,363	★★★
3. ウェルネス・サステナブル事業				
	(1) 北中城村委託「ウェルネスツーリズム推進事業」	年間	¥4,112,861	★★★
4. 連携事業				
	(1) 協会会員数	年間	¥0	★★
	(2) ふるさと納税新商品開発	年間	¥386,962	★
	(3) 観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の 稼げる看板商品の創出事業」	年間	¥7,700,000	★★
	(4) 観光庁「「ワーケーション推進事業 （企業と地域によるモデル実証事業）」	年間	¥1,385,143	★★
5. 地域事業				
	(1) 北中城村観光協会評価アンケート	2月・3月	¥6,636	★★★
	(2) 会報誌発行	年間	¥9,248	★★★
	(3) インターンシップ受入	年間	¥0	★★
	(4) 地域通貨販売窓口事業	6月～2月	¥0	★★★
	(5) 北中城村民ゴミ袋配布に伴うオリジナル段ボール制作事業	12月・1月	¥895,950	★★★
6. 組織管理				
	(1) 理事会実施	年間	¥56,600	★★
	(2) 経営会議実施	年間	¥0	★★
	(3) 人材育成	年間	¥275,900	★★★
	(4) DMO登録	年間	¥0	★★



※達成度：★★★「十分な達成」42% ★★「達成」48% ★「未達成」10%

項番	1 - (1)		
事業名	観光案内業務		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	0円	収入 0円
担当	米須、井上		
目的	観光客からのバスや観光地に関する問い合わせ対応・村内の観光案内を目的とする。また、観光案内冊子や村内イベントのチラシ、村内のショップカードやリーフレット等の設置、補充を行う。		
概要	一般社団法人 北中城村観光協会 所在地：沖縄県中頭郡北中城村字ライカム1番地 イオンモール沖縄ライカム内1F 営業日：年中無休 営業時間：8:30～17:15		
実施詳細 成果	<p>観光案内所利用者数</p> <p>2022年：4月 1,066名 5月 1,057名 6月 1,267名 7月 1,163名 8月 1,859名 9月 1,569名 10月 1,679名 11月 1,347名 12月 1,778名</p> <p>2023年：1月 1,020名 2月 908名 3月 856名</p> <p><u>年間合計：15,569名</u></p> <p>コロナによる行動制限も緩和され、観光案内客数が前年度から約3,000人ほど増加した。またレンタカー不足の影響もあり、バス利用に関する問い合わせが増加している。北中城村村内の周遊バスもルートが拡大されたため、観光冊子を活用してバスを利用した村内の観光ルートなどの案内を行った。</p>		
連携 事業者等	なし		
課題	観光協会事務所と観光案内窓口を併用しているため、お客様が入店を躊躇している場面も見受けられる。今後も冊子やPOPの設置、村内の商品展示等で気軽に入ってもらえるような案内所づくりをしていく必要がある。		






項番	1 - (2)		
事業名	北中城村観光情報ポータルサイトリニューアル及びオンラインショップ運営		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	5,299,000円	収入 5,299,000円
担当	禰覇、荒川		
目的	<p>I.観光情報ポータルサイトリニューアル 村の観光施策を効果的にアピールし、強い情報発信力を持ち、分かりやすく、閲覧者が質・量ともに満足できるHPを作成する。</p> <p>II.オンラインショップ運営 体験商品をオンライン販売がおこなえるようにする。</p>		
概要	<p>I.観光情報ポータルサイトリニューアル 3月17日に新しい観光情報ポータルサイトを公開した。</p> <p>II.オンラインショップ運営 体験商品の販売サイトを構築した。</p>		
実施詳細 成果	<p>I.観光情報ポータルサイトリニューアル 他のサイトにはないような「人」や「ストーリー」にフォーカスを当てた記事を作成。ただ情報を記載するのではなく読み応えのある展開や、深掘した情報を記載することで閲覧者の満足度向上が期待される。 閲覧ページから、さらに次のページへと連続して閲覧してもらう仕組みとして記事下におすすめの記事を掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規で20か所のスポット取材、2コースのおすすめコース取材を実施。 <p>■令和5年3月17日リニューアル公開 【既存ページイベント記事更新】61件 【年間PV数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度：103,374PV（セッション数：166件/日） ・令和4年度：167,698PV（セッション数：229件/日） <p>※伸長率（1日あたり）/PV数：176PV増、セッション数：63件増</p>  <p>II.オンラインショップ運営 ■令和5年3月17日公開 体験商品販売用のオンラインショップを構築した。なお、商品準備中の為、サイト上では「準備中」の表示となっている。</p>		

	<p>【販売フロー】</p> <p>利用者が商品ページから商品を選び、予約フォームから事業者へメールが届き、事業者が承諾すれば予約完了。支払いは基本的にはお客様と事業者の直接のやりとり。(現地支払い)</p> <p>予約のやり取り等は管理の為観光協会にもメールが届く。</p> <p>オンラインショップ</p>  
<p>連携事業者等</p>	<p>沖縄セルラー アグリ & マルシェ株式会社</p>
<p>課題</p>	<p>I.観光情報ポータルサイトリニューアル</p> <p>イベントの更新は強化できたが、イベントが殆どない時期には更新が途切れてしまう事が考えられるため、今後はイベントがない時期には特集ページ等の更新を行い、イベントが少ない時期でも情報の更新を行い、継続的に北中城村が認知される状況を構築する必要がある。</p> <p>店舗情報や商品情報について最新の情報を届けられるよう、情報収集または自然に情報が集まってくるような仕掛けづくりが必要のため、今後も閲覧者数を伸ばす施策を継続し、掲載するメリットを大きくすることで、情報元から掲載依頼がくる流れを作ることが効果的である。</p> <p>統一したデザインを意識し、視覚的ストレスを軽減させる。</p> <p>II.オンラインショップ運営</p> <p>現状は販売できる体験商品がまだないため、他事業と連携し、体験商品を充実させることにより村内観光消費向上に寄与する。</p> <p>サイトとしての認知度が低いため、旅行会社との連携も行い、今後認知度を向上させる必要がある。</p>

項番	1 - (3)		
事業名	LINE 法人アカウント活用業務		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	66,000円	収入 55,000円
担当	井上、米須		
目的	北中城村の観光情報を顧客へダイレクトに届け、観光に関する質問等を気軽に出来るようにすることで北中城村の顧客満足度を高めていく事を目的とする。		
概要	北中城村観光協会公式 LINE アカウントを活用し、北中城村の観光情報発信の北中城村のファン（村内外の登録者）への直接通知・スタジオキタナカの間合せ受付・ポータルサイトに繋がるバナーの構築等を行い、観光満足度を高める取り組みを行った。		
実施詳細成果	<p>公式 LINE 登録者数：5,650 名 （令和5年3月31日時点）</p> <p>★バナー構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトきたポ ・スタジオキタナカ ・RYCOM CHANNEL <p>★観光情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェルネル事業イベント ・観光 PR 事業イベントの発信 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>(一社)北中城村観光協会 友だち 5,650</p> <p>女性長寿日本の村、北中城村の情報を発信</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> トーク 予約 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  </div> </div>		
連携事業者等	なし		
課題	県外の登録者もいることから、イベント情報の発信にあたり、通知すべき観光情報のターゲット設定を一層明確にして情報発信する必要がある。		

項番	1 - (4)		
事業名	マーケティング業務		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	4,176,120円	収入 4,050,000円
担当	五十嵐、原口		
目的	マーケティング情報を収集して活用を図るとともに、マーケティングを用いた企画立案、事業実施といった長期的な北中城村観光のマーケティング力を向上させる。		
概要	マーケティング企画会議による専門家からのマーケティング実務の教育訓練、村内16事業者に対するGoogleビジネスプロフィールの登録・拡充支援及び観光客と地域住民に対して観光アンケート収集を行った。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ■マーケティング企画会議 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング企画会議：39回実施 ■マーケティング実施 <ul style="list-style-type: none"> ・Googleビジネスプロフィールの登録拡充支援： <ul style="list-style-type: none"> ルート検索数 161%増 予約電話数 120%増 アクション数 173%増 ■マーケティング情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客対象：宿泊者数・旅行消費額・来訪者満足度 リピーター率等：204回答 ・住民対象：観光施策に対する満足度等：1回答 ・WEBサイト：アクセス数等：167,698PV 		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング企画会議：有限会社サイト ・マーケティング実施：株式会社リーゴ ・マーケティング情報収集：EM暮らしの発酵ライフスタイルリゾート、エンズマリーナインライカム、SPICE MOTEL、縁どころ吉嶺、安座間珈琲、中村家住宅、GUSUKU ROCK CAFÉ、イオンモール沖縄ライカム内観光案内所 		
課題	<p>全般的にPDCAを回していくことが必要であり、Googleビジネスプロフィール支援に関しては、今後、村内各事業者が各自で自走化できるかが課題である。マーケティング情報収集は概ね村内の傾向が分析できたが、今後は回答数増に取り組むことで、より詳細に村内観光の課題の抽出を行い、ターゲットの設定、ターゲットに訴求できる観光施策の造成等を行う必要がある。</p>		



項番	1 - (5)		
事業名	観光案内冊子作成業務		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	1,922,800円	収入 1,922,800円
担当	米須		
目的	北中城村の観光情報が集約された北中城村観光案内冊子を制作し、観光PRイベント時での配布、宿泊施設や観光案内所に設置する事で北中城村の観光情報を届ける事を目的とする。		
概要	北中城村観光案内冊子の3種の制作を行い、「北中城村青年エイサーまつり／北中城まつり」や「第8回ふるさとチョイス大感謝祭」等のイベント時の配布を行い、観光客の来場者数が多いイオンモール沖縄ライカム内や村内宿泊ホテルへの設置を行った。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ■北中城 map 3,000部 ■北中城 Trip 3,000部 ■バス旅ガイドブック 10,000部 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">    </div>		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・北中城 map : 株式会社東洋企画印刷 ・北中城 Trip : 株式会社東洋企画印刷 ・バス旅ガイドブック : 沖縄広告株式会社 		
課題	掲載情報された内容は都度変わっていくため、ポータルサイトと連携し、データを活用したWEB上で最新情報が都度確認出来る仕組みづくりが今後必要になってくる。		

項番	1 - (6)		
事業名	観光情報アクセスポイント整備		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	1,496,616円	収入 1,460,404円
担当	高橋、禰覇		
目的	FreeWi-Fi サービスを提供することで観光客が安全安心に北中城村内を過ごしてもらうことに加え、ビッグデータを活用した観光施策を検討することを目的として機器の整備等を行った。		
概要	インバウンド向けに Free_Wi-Fi_KITANAKA 設置を継続した。観光客が安全安心に観光をできるよう、また、ビッグデータを活用した観光施策の検討を行った。		
実施詳細 成果	<p>今年度、新規設置依頼が1件（和仁屋公民館）、撤去が1件（cotonowa）であった。災害モードの発生は全部で9件あった。利用状況は、新型コロナウイルスの影響で観光客が著しく減少した為、ビッグデータの取得が厳しい結果となり、観光施策への活用が困難という結果となった。本事業に関しては、今年度で終了となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑ 和仁屋公民館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑ cotonowa</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>↑ 「災害モード」切り替え</p> </div>		
連携 事業者等	村内事業者、NTT-BP 株式会社		
課題	今年度で Free_Wi-Fi_KITANAKA 事業が終了となることを受け、次年度以降、観光客の人流状況把握についての活用方法も含めた検討が必要である。		


項番	1 - (7)		
事業名	観光インフラ委員会		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	32,354円	収入 18,000円
担当	高橋、禰覇		
目的	北中城村の観光情報インフラ整備推進計画（以下、「推進計画」という。）に基づき推進する各施策が想定通りの効果をもたらしているか、また課題がある場合においては課題の解消や目標との差異を埋めるために改善等を進めることを目的とする。		
概要	本委員会は、委員長1名、委員7名。計8名で構成されている。今年度は、村内に設置している Free_Wi-Fi_KITANAKA の管理運営状況の報告、及び次年度以降の事業継続について協議を行った。		
実施詳細成果	<p>本年度行った書面開催において、Free_Wi-Fi_KITANAKA の事業終了の議題提起により賛成6：反対2で可決という結果となった。</p> <p>その大きな理由としてインバウンドがまだまだ見込めない点と5Gの普及が進むなどインフラの整備が国を挙げて進んでいること、また、フリーWi-Fiのニーズが変化及び低迷していることがポイントとなった。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 20px;"> <p style="font-size: small;">令和4年3月23日</p> <p style="text-align: center;">北中城村観光情報インフラ整備推進委員会</p> <p style="text-align: center;">北中城村観光情報インフラ整備推進委員会 委員長 高橋 禰覇</p> <p style="text-align: center;">令和4年3月23日開催の観光情報インフラ整備推進委員会臨時会議の議事録</p> <p style="font-size: x-small;">御中、北中城村観光情報インフラ整備推進委員会へおて、ご報告のとおりにお知らせいたします。</p> <p style="text-align: center;">議決： 賛成：6 反対：2</p> <p style="font-size: x-small;">北中城村観光情報インフラ整備推進委員会（委員長 高橋 禰覇）</p> <p style="font-size: x-small;">議決日：令和4年3月23日（水曜日）</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p style="text-align: center;">↑ Wi-Fi 撤去作業工程</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↑ 議案結果イメージ</p>		
連携事業者等	なし		
課題	今年度で「Free_Wi-Fi_KITANAKA 事業が終了となった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入域客数の激減及び観光客のニーズの変化により「Free_Wi-Fi_KITANAKA」の利用者数が著しく低下したため、今後は観光動向の変化やニーズの変化に対応したインフラ・情報収集手段の整備が課題である。		

項番	1 - (8)		
事業名	地域ブランディング業務		
期間	2023年3月5日		
収支	支出	1,131,407円	収入 1,131,407円
担当	五十嵐、米須、井上		
目的	これまでターゲットとしていなかった層への観光資源の認知向上を図る。		
概要	コスプレ文化の需要に応え、地域活性化を図るために、村内の歴史・文化的遺産である中城城跡と中村家住宅を活用したコスプレイベント「きたコス」を開催した。		
実施詳細 成果	<p>■日時：2023年3月5日（日）10:00～16:00</p> <p>■場所：・会場：中城城跡、中村家住宅 ・駐車場：普天間自動車学校、台グスク駐車場、中城城跡駐車場 ・女性更衣室：大城公民館 ・男性更衣室：荻道公民館</p> <p>■催し：村内事業者のキッチンカー4台出店</p> <p>■成果「北中城村の認知度向上」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：483人 ・参加者からのSNS発信数 ⇒30件（Instagram） ⇒2,018件（Twitter） ・北中城村観光協会公式SNS登録/フォロワー数：85件増 ・アンケート回答数：203件 		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・運営サポート委託：株式会社シトラスファーム ・警備委託：ホープ管理警備株式会社 ・シャトルバス運営委託：北中城村シルバー人材センター ・イベント撮影業務：TOMOPHOTO ・チラシ・ポスター制作委託：光文堂コミュニケーションズ株式会社 		
課題	来場者が多数に上り、SNS等でも多くの情報が発信され、北中城村の認知度向上に寄与した。また、アンケート調査においても、満足であるとの回答が90%を超えていることから、北中城村の観光プロモーションとして、継続的な開催を検討する必要がある。		



項番	1 - (9)		
事業名	観光推進委員会		
期間	未実施		
収支	支出	0円	収入 0円
担当	五十嵐、原口		
目的	将来的な「観光地域づくり法人」(DMO)の形成を考慮し、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光アクションプログラムを策定すること。		
概要	目的を達成するため、行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通、商工業等の幅広い分野の関係団体の参画する委員会を開催する。		
実施詳細成果	年度途中での事務局長の退職や、令和4年10月28日付候補DMOへの登録があり、観光推進委員会に求める役割の再整理が必要となったため、当年度の実施を見送った。		
連携事業者等	なし		
課題	DMOの正式登録要件(観光庁「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」V(2)観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること)でもあるため、速やかな体制構築及び開催に取り組む。		

項番	1 - (10)		
事業名	有償ボランティアガイド・民泊事業化調査		
期間	令和4年9月20日～令和5年3月22日		
収支	支出	400,000円	収入 400,000円
担当	原口		
目的	北中城村で観光資源化できていない有償ボランティアガイド及び民泊について、市場調査を行い、事業化可能性を検討する。		
概要	有償ボランティアガイド及び民泊について、村内で効果的、効率的な事業展開に向けて市場調査し、事業企画提案をおこなう。		
実施詳細 成果	<p>以下5点について、調査・分析を行い、村に対して事業企画提案を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○民泊及び有償ボランティアガイドを取り巻く状況について ○他市町村事例及びその成功・要因 ○村内既存資源・体制 ○村内の強み・弱み ○上記を踏まえた上での事業化モデル 		
連携 事業者等	篠田宇希氏		
課題	ガイド事業については、北中城村においてもニーズ及び事業化の可能性が高い。よって、本調査を参考に、次年度以降の事業化につなげる。		

項番	1 - (11)																				
事業名	ウェルネス・サステイナブル推進業務																				
期間	令和4年4月1日～令和5年3月22日																				
収支	支出	1,299,750円	収入 1,299,750円																		
担当	禰覇、荒川																				
目的	村のウェルネス・サステイナブルブランディング推進に資するイベント開催や商品開発を行う。																				
概要	<p>I. イベント 昨年ツアー造成で実施した「ウェルネス大学」を単独コンテンツとし全5回のセット講座を企画。</p> <p>II. 商品開発 ウェディング商品造成のためのモニタリングを行った。</p>																				
実施詳細成果	<p>I. イベント 令和4年9月～令和5年1月の月1回開催を予定。 各回の導入講座+事例講座内容は下記のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>導入講座</th> <th>事例講座</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月10日(土)</td> <td>ウェルネスとは</td> <td>女性の健康とウェルビーイング</td> </tr> <tr> <td>10月15日(土)</td> <td>ウェルネスとコーヒー</td> <td>沖縄産のコーヒーが いま熱い！</td> </tr> <tr> <td>11月5日(土)</td> <td>ウェルネスとコミュニティ</td> <td>農福連携で創る、地域のウェルネス</td> </tr> <tr> <td>12月3日(土)</td> <td>ウェルネスと長寿</td> <td>ウェルネスとフラ、ハワイと沖縄の繋がり</td> </tr> <tr> <td>1月7日(土)</td> <td>ウェルネスと生きがい</td> <td>ウェルネスと食、発酵について</td> </tr> </tbody> </table> <p>※最小遂行人数：各回20名</p>  <p>イベント案内パンフレット</p> <p>HPイベント紹介ページ</p> <p>参加申込サイト</p> <p>イベント造成は完了したが、イベント申込者が最小遂行人数に達しなかった為、イベント遂行は取りやめとなった。</p>			開催日	導入講座	事例講座	9月10日(土)	ウェルネスとは	女性の健康とウェルビーイング	10月15日(土)	ウェルネスとコーヒー	沖縄産のコーヒーが いま熱い！	11月5日(土)	ウェルネスとコミュニティ	農福連携で創る、地域のウェルネス	12月3日(土)	ウェルネスと長寿	ウェルネスとフラ、ハワイと沖縄の繋がり	1月7日(土)	ウェルネスと生きがい	ウェルネスと食、発酵について
開催日	導入講座	事例講座																			
9月10日(土)	ウェルネスとは	女性の健康とウェルビーイング																			
10月15日(土)	ウェルネスとコーヒー	沖縄産のコーヒーが いま熱い！																			
11月5日(土)	ウェルネスとコミュニティ	農福連携で創る、地域のウェルネス																			
12月3日(土)	ウェルネスと長寿	ウェルネスとフラ、ハワイと沖縄の繋がり																			
1月7日(土)	ウェルネスと生きがい	ウェルネスと食、発酵について																			

II. 商品開発

感染症などの影響で結婚式をやりたいが、できていなかった村内のご夫婦を対象に、ホームページで募集し選ばれたご夫婦が親族、ご友人を集めて中村家住宅中庭にて人前式を行った。

参加者は家族親族を含め 55 名が参加し、洗練されたプライベートな空間で二人をお祝いした。

■実施日：令和 5 年 1 月 29 日(日) 国指定重要文化財中村家住宅



▲沖縄タイムス記事（令和 5 年 2 月 6 日）



▲広報誌「きたなかぐすく」2023.3月号



▲県内結婚情報誌
ちゅら婚（3月・4月・5月号）



連携
事業者
等

I. イベント

- ・国立大学法人琉球大学ウェルネス研究分野
- ・EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート



II. 商品開発



- ・篠田宇希氏：全体企画提案、スケジュール調整

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Style-mieme : 衣装、会場レイアウト、業者調整、会場準備 ・ Sally Wedding Design : プランニング、新郎新婦ヒヤリング、進行調整
<p style="text-align: center;">課 題</p>	<p>I. イベント</p> <p>昨年度好評であったことから単独コンテンツ化したが、教育寄りのコンテンツであったため、通常の観光コンテンツとは異なるターゲットであった可能性が高い。今後は、告知前にターゲットに合わせた告知場所や方法を検討する必要がある。</p> <p>また、パンフレット設置やHP掲載だけでなく、教育関連コンテンツの場合の掲載先検討などチャンネルを増やし、多くの方へ情報発信する必要がある。</p> <p>II. 商品開発</p> <p>定期開催にあたって、引き続き調整が必要な事項がある。しかし、コンテンツは極めて好評のため、施設利用のハードル等の調整を進め、村を代表する観光コンテンツとして商品化による定期開催を目指す。</p>

項番	1 - (12)		
事業名	イベント・キャンペーン実施		
期間	令和4年11月12日～令和4年11月13日		
収支	支出	1,709,000円	収入 1,709,000円
担当	米須、五十嵐、井上		
目的	県内外のイベントへ出展し観光スポットや特産品の紹介を行う。また北中城村の認知度を定着させるため、観光案内冊子やノベルティグッズの配布を行い、観光客の誘致を図る。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月にパシフィコ横浜で行われた「ふるさとチョイス大感謝祭」への参加 ・イベント時に使用できるPRブース装飾の作成 		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施詳細 <p>納税品の展示／商品販売／観光案内冊子、ベルティグッズ配布／飲食物の試飲、試食／観光協会公式 SNS へのフォロー誘導／アンケート調査／地域活性化キャラステージショーへの参加／村内プロモーション動画の放映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施成果 ・来場者数 2,236人 ・アンケート調査 収集総数 407件 ・SNS フォロワー増加数 76人 ・PR ブース装飾制作 <p>コスプレイベント、観光案内所、FC 琉球北中城村民 DAY 等で活用した。</p>		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとチョイス大感謝祭 <p>佐敷中城漁業協同組合 北中城支所／cafe-jam + kukka..／名嘉真製菓本舗／きたなか荘弁当／しおさい市場／トミハチ／米須三線店／中村家住宅／ガラス工房長七屋／EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート／エンズマリーナイン・ライカム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR ブース装飾制作 <p>株式会社 近代美術</p>		
課題	<p>「沖縄」は知っていても、「北中城村」の認知度は高くないことがアンケート結果からも明らかとなった。今後も継続的に対面でのイベント出店、プロモーションを継続して行っていく必要がある。また、イベント等でPRする商品充実のため、体験コンテンツを造成していく必要がある。</p>		



項番	1 - (13)		
事業名	ノベルティ制作		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	2,000,000円	収入 2,000,000円
担当	米須、高橋		
目的	北中城村内の小学生等がデザインしたノベルティグッズを制作し、観光イベント等で配布することで、北中城村の認知度向上へ繋げる。		
概要	「北中城村青年エイサーまつり／北中城まつり」や「北中城村農水産物フェア」、「きたコス」等の北中城村内イベントや「第8回ふるさとチョイス大感謝祭」の県外イベント等で観光アンケートの実施、SNS登録の促進等を行い北中城村観光ノベルティグッズの配布を行った。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルボールペン／オリジナルハンカチ：各 2,000 個 ・オリジナルエコバック：3,000 枚 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールペン・ハンカチデザイン：北中城村立島袋小学校生徒 ・ボールペン／ハンカチ制作：丸正印刷株式会社 ・エコバック制作：Growth ・エコバックデザイン：ひがりゅうた氏（ありんくりん） 		
課題	ノベルティグッズはイベント等の来場者等に対して、北中城村の認知度を向上させる上で重要なツールとなるが、来場者等が「貰って満足する」だけでなく、貰った後に口コミ等で拡散し、北中城村へ更に興味を持ってもらい来村を促す仕組みの強化が必要である。		

項 番	1 - (14)		
事業名	地域連携事業		
期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収 支	支出	42,869 円	収入 42,869 円
担 当	米須、禰覇、高橋		
目 的	北中城村内の団体等と連携を行い観光誘客に繋がる取り組みやそのサポートを行うことで、観光資源の発掘や地域からニーズ及び関係構築を目的とする。		
概 要	<p>当事業では、下記の事業に協力及び観光PRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり掲揚式 ・きたなかマルシェ ・よしもとキタナカ劇場 ・村内宿泊ホテル北中城村観光案内ブースの設置 (@EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート) ・青空 CUP & 城 JAM ・BS よしもと生中継出演 (『となりマッチ』) ・北中城村青年エイサーまつり/北中城まつり ・きたなかハロウィンイベント ・ライカムハートロードクリーンアップ作戦 ・北中城村農水産フェア <p style="text-align: right;">計 10 事業への参加</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
実施詳細 成果	地域の事業者と関わるきっかけとなり観光におけるニーズの抽出、新規事業に係る観光資源の獲得に繋がった。		
連携 事業者等	北中城村、北中城幼稚園、北中城村商工会青年部、よしもとエンタテインメント沖縄、EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾートホテル、城 JAM 実行委員会、沖縄市観光物産振興協会、北中城村まつり活性化委員会、イオンモール沖縄ライカム、北中城村農水産物フェア実行委員会等		
課 題	観光客は地域をまたいで周遊するため、近隣観光協会等と連携したさらに広域での観光商品開発を強化していく必要がある。		

項番	2 - (1)		
事業名	地域情報発信強化 (SNS強化)		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	15,071円	収入 15,071円
担当	高橋、井上		
目的	観光協会の公式 SNS 等 (Facebook/Instagram/Twitter/LINE/YouTube) を活用し、北中城村内の情報を県内外へ発信することで観光誘致を図る。		
概要	観光スポット、村内事業所の紹介、イベント等のお知らせを実施。またアクセス数増加、情報拡散のため投稿記事への広告を行う。		
実施詳細 成果	<p>令和4年度総フォロワー数：13,053名 (前年度比+1,555)</p> <p>【R4年4月～R5年3月登録者数の推移】</p> <p>LINE：5,479名→5,650名 (+171) Twitter：305名→529人 (+224)</p> <p>Facebook：3,300名→3,783名 (+483)</p> <p>Instagram：1,073名→1,484名 (+411)</p> <p>YouTube：1500名→1,607名 (+107)</p> <p>【広告宣伝】</p> <p>Facebook</p> <p>「北中城村ウェルネス大学」：広告リーチ数 2,583pv</p> <p>「北中城村 e-sports 大会/第1回」：広告リーチ数 5,534pv</p> <p>「北中城まつり」：広告リーチ数 384pv</p> <p>「観光地域づくり法人 DMO 候補登録」：広告リーチ数 11,528pv</p> <p>「観光情報サイトのリニューアル」：広告リーチ数 17,580pv</p> <p>Instagram</p> <p>「観光アンバサダー就任」：広告リーチ数 11,708pv</p> <p>Twitter</p> <p>「北中城村 e-sports 大会/第1回」：広告リーチ数 19,786pv</p> <p>「北中城まつり」：広告リーチ数 54,677pv</p> <p>「北中城村 e-sports 大会/第2回」：広告リーチ数 9,178pv</p>		
連携 事業者等	なし		
課題	月の投稿数や投稿頻度に偏りがあり、年間を通してお知らせの投稿が多かったため令和4年度の目標としていたフォロワー総数 15,000 人には届かなかった。今後は毎月目標のフォロワー数を設定し、村内飲食店や観光地のホットな話題投稿をメインとする。また継続的に広告宣伝を行い、情報の拡散やHP アクセスへ繋げることで総フォロワー数 2 万人を目指す。		



項番	2 - (2)		
事業名	スタジオキタナカ新企画		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	1,554,363円	収入 2,997,487円
担当	福本、與座		
目的	映像収録/撮影、配信等のスタジオ貸出を行い地域の情報発信の場として活用を目的とする。		
概要	配信業務だけでなく動画制作や貸しスペースの需要も多く幅広く実施		
実施詳細 成果	<p>〈実施内容〉</p> <p>スタジオ用の SNS PR (アカウント作成・更新) Instagram 運営開始、facebook 毎日投稿・琉球プライム番組収録 (定期配信)、OCN 特別番組収録、人権委員会 DVD 作成業務、福祉課 DX チラシ作成業務、キタナカグスク e スポーツ選手権 2022、福祉課敬老会イベント映像作成業務、世界のウチナーンチュ大会配信、個人貸し出し、ATMA 授業スタジオ貸し出し(定期利用)、キタナカグスク e スポーツフェスティバル 2022、音響出張、教育委員会生涯学習動画作成、2023 年北中城村成人式配信業務、エッカ石油新年会配信、個人事業主様オンライン配信講座(定期利用)、沖縄市 e スポーツ大会チラシ作成業務、沖縄市 e スポーツ大会バナー作成業務、沖縄市 e スポーツ大会 LP 作成</p> <p>〈写真〉</p> 		
連携 事業者等	1.株式会社 the wave (e スポーツ関連) 2.株式会社 okicom (配信事業者) ※e スポーツ大会実施の連携事業者 ※配信関連の連携事業者 3.株式会社 CINEVIXION (映像制作会社) ※映像制作プロモーションビデオの作成協力企業		
課題	配信、制作、撮影、編集、企画等と少人数精鋭の人材を育成する。		

項番	3 - (1)		
事業名	北中城村委託「ウェルネスツーリズム推進事業」		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月25日		
収支	支出	5,300,000円	収入 5,300,000円
担当	禰覇、荒川		
目的	北中城村におけるウェルネスの定着化、村民・訪問者に対して広く発信し、新たな観光コンテンツの開発を目的とする。		
概要	<p>I. ワークショップ…5回開催（発酵ワークショップ）</p> <p>II. イベント…2回開催（ヨガ／フラ 各1回）</p> <p>III. モニタリングツアー…3種（日帰り／1泊2日／2泊3日）</p> <p>各種参加者へアンケートを実施し、観光コンテンツ商品化に向けた参加者の情報取得を行った。</p>		
実施詳細 成果	<p>I. ワークショップ</p> <p>EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾートへ委託し、村民対象のワークショップを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和4年10月17～21日 ・参加者数：75名（定員：15名／回）※満員  <p>▲配付チラシ：6000部 ▲ホームページ掲載</p> <p>II. イベント</p> <p>世界遺産中城城跡にて「ウェルネスフラ」「ウェルネスヨガ」を各1回実施。</p> <p>【ウェルネスフラ】</p> <p>開催日時：令和4年11月6日(日) 10:00-12:00</p> <p>参加者：県民153名</p>  <p>【ウェルネスヨガ】</p> <p>開催日時：令和4年12月4日(祝)</p>		

対象者 : 県民

参加者 : 23名

※令和4年11月23日実施を予定していたが天候不良の為延期。その為参加者人数が当初の予約人数より減少しての開催となった。



Ⅲ. モニタリングツアー

世界遺産のある沖縄長寿の村でしか体験できない「キタナカウェルネスプログラム～信仰・食・運動・繋がり～」を現地の人の生活を通じて、自らの健康や生活、それぞれの人生の豊かさや自身のウェルネスを考えるきっかけとする体験型ツアープログラムを実施。

【日帰り：琉球宮廷料理】

国指定重要文化財中村家住宅のガイド後、同所での琉球古典音楽を聴きながら琉球宮廷料理（昼食）を堪能する。

開催日時：令和5年1月19日(木) 12:00-15:00

対象者 : ツアー販売旅行会社

参加者 : 4名



令和5年(2023年)2月1日(水曜日)琉球新報 朝刊 地2 1版 022ページ

記事ID:KJ202302010000001700

「中村家住宅」で宮廷料理体験

北中城遺文 地域資源活用へ企画

【北中城】北中城村大城の国指定重要文化財「中村家住宅」で19日、沖縄の宮廷料理を楽しむイベントがあった。村親光遊会が企画した。旅行会社の担当者を引き、地産資源を活用した旅行商品の開発に向けてモニタリングをした。各社からの意見などを聞き、今後の開発を検討している。この日は暮らしの発祥ライフスタイルゾーンの推進事業総料理長が、花イカ、ミヌダル、



旅行会社の担当者を引き、地産資源を活用した旅行商品の開発に向けてモニタリングをした。

イフアンシなどの琉球宮廷料理を堪能した。食事の後は約1時間、中村家住宅に関するガイドツアーをし、食事中心三線の演奏を楽しんだ。村親光遊会の権藤善さんは「北中城の文化の魅力を活用した商品開発を進めている。プロの目から改善点や体験感などのアドバイスもいただきたい」と話した。参加した沖縄ツアーリスト国内個人型企画家の石川隆大チーフ

を「国内の観光客向けのツアーやお祝い事での利用でも可能性がありそうだ」と話した。東表トップツアーズ沖縄支店の黒谷香里係長は「高付加価値なものを求める外国人観光客向けの商品としてもいいのではなないか。沖縄は世界で他にない独特の文化がある」と話した。(森野良夫)


【1泊2日：ウェルネスビギナー】

	<p>宿泊施設 EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾートにて、ウェルネス大学（座学+自社農園見学）実施。翌朝は世界遺産中城城跡でのウェルネスヨガを実施。</p> <p>開催日時：令和5年1月27～28日</p> <p>対象者：ツアー販売旅行会社、観光業界関係者</p> <p>参加者：8名</p>  <p>【2泊3日：ウェルネスエクスペローラー】</p> <p>村内のまち歩き（2種）、中城ハンタ道のガイドツアーの他、健幸ウェルネス体操、ツアー宿泊施設 EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾートでの琉球宮廷料理、泡盛利き酒やスパを盛り込んだ上級者向けツアー。</p> <p>開催日：令和5年1月25～27日</p> <p>対象者：ツアー販売旅行会社、観光業界関係者、県内観光情報発信事業所</p> <p>参加者：宿泊込み全行程（5名）</p> <p>単品参加1日目/2名・2日目/6名（うち、ハンタ道のみ2名）・3日目/3名</p> 
<p>連携事業者等</p>	<p>I. ワークショップ：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート</p> <p>II. イベント：フラ/カイルアフラスタジオ、ヨガ/玉城 類さま</p> <p>III. ツアー：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート ガイド/比嘉栄吉氏・安里義夫氏・比嘉實氏</p> <p>■篠田宇希氏：全体企画提案、スケジュール調整</p>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験して終わるのではなく、次に繋がるような仕組みづくりが必要。 ・雨天時対応が困難な内容が多く、中止や延期になり参加者減少に繋がってしまう為、代替案や雨天時でも実施できるプログラムの構築が必要。

項番	4 - (1)		
事業名	協会会員数		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	0円	収入 612,500円
担当	荒川、原口		
目的	北中城村観光協会の経営方針に賛同いただける会員を増やし、協働して効果的に事業にあたる。		
概要	令和4年度末会員数 94 会員（前年度比+2 会員）		
実施詳細 成果	<p>(1) 新規入会 (12 会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 篠田宇希 ・ 雑貨屋おはな ・ アイプラーナ ・ Grab a dream ・ 沖縄県イベント組合 ・ 宗教法人城徳寺 ・ 純 (ツナ) ・ キモノバナ ・ 株式会社はちれん (RYCOM RAMEN PLACE) ・ Flying Cube ・ 比嘉いづみ ・ 株式会社リーゴ <p>(2) 退会 (10 会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉山明子 ・ 陶器工房陶庵 ・ ラピスラズリー ・ 株式会社玄 ・ ギャラリー・ローズガーデン ・ 株式会社超企業 ・ 一般社団法人ポリネ ・ 香りと場研究所 ・ 峠の茶屋 ・ メキシカンダイナー マリソル 		
連携 事業者等	なし		
課題	協会と会員や会員間で協働・連携する場を創出する。		

項番	4 - (2)		
事業名	ふるさと納税新商品開発		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	386,962円	収入 451,500円
担当	井上、米須		
目的	北中城村の資源を有効活用しふるさと納税の返礼品として商品販売を行うことで特産品PRや体験商品による村内への観光消費・観光誘致を図る。		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新規商品開発 ・北中城村観光協会出品返礼品の受発注 商品掲載サイト：ふるさとチョイス／北中城村特設／楽天／ふるなび／JRE MALL／ANA		
実施詳細成果	<p>【新商品】なし</p> <p>【販売実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグロ釣りツアー単品：4件 ・マグロ釣りツアー&ホテル釣果料理スパ付き：1件 ・北中城村活性化ポロシャツ AZA-T：6件 <p>【その他】</p> <p>宿泊プラン付きのマグロ釣りツアー商品開発の調整：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグロ釣り&宿泊チケット【2泊・2名様】ジュニアスイート ・マグロ釣り&宿泊チケット【2泊・4名様】スーパーアスイート ・マグロ釣り&宿泊チケット【2泊・6名様】ライカムコーナースイート 		
連携事業者等	Growth／EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート／エンズマリーナイン・ライカム／涼香丸／普天間自動車学校／ホテルサザンヴィレッジ沖縄／株式会社ラクセスイノベーション		
課題	年度中に新商品の販売を行うはできなかったが、現在令和4年度に実施したモニターツアーから体験商品や村内カフェチケット、スタジオキタナカの利用チケットなど販売を検討している。村内への観光誘客のため体験型を中心に商品開発を行うと共に、納税サイトとして知名度の高い「さとふる」など新規サイトへも参入していく必要がある。		




項番	4 - (3)		
事業名	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」		
期間	令和4年6月15日～令和5年4月5日		
収支	支出	7,700,000円	収入 6,000,000円
担当	原口、又吉、高橋		
目的	観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」を活用し、北中城村の観光資源を磨き上げ、看板商品を創出する。		
概要	<p>インバウンドを中心としたモニタリングツアーを実施し、以下の3つを柱としたツアー造成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性長寿日本一の村で生き生きと暮らすおじいおばあと触れ合う地域コミュニティ参加体験 ・プレミアム発酵フルコースを体験 ・パートナーとの信頼関係を高め繋がりを再確認するペア 		
実施詳細 成果	<p>○実施詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人視点でのコンテンツ磨き上げのためのモニタリングツアー（2名参加）：8/18、19実施 ・中間報告会：10/19 ・公募観光客向けのモニタリングツアー（8名参加）：12/3、4実施  <ul style="list-style-type: none"> ・最終報告会：4/5 <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3商品中、1商品を商品化 ・観光PR動画作成 ・観光案内の多言語化 ・新たな観光案内ツール作成（旅のしおり） 		
連携 事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・実施連携：WAmazing 株式会社 ・コンテンツ作成：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート、ヨガシャンティ、北中城村シルバー人材センター ・動画制作：株式会社 CINEVIXION 		
課題	様々な関係者との連携不足により、事業途中で実施体制の見直しを行ったことで、事業の主旨に適した磨き上げが遅れた。公募申請の時点で、協会内体制などの認識をよくすり合わせておく必要がある。		

項番	4 - (3)		
事業名	観光庁「ワーケーション推進事業（企業と地域によるモデル実証事業）」		
期間	令和4年9月1日～令和5年2月28日		
収支	支出	1,385,143円	収入 1,385,143円
担当	高橋、井上		
目的	令和3年度に当事業に取り組みをはじめ、前年度のワーケーション実施可能拠点を検討し冊子作りを行った。令和4年度は、昨年度の取り組みを受け新規観光事業としてワーケーションプログラム構築を目指して事業展開を目指す。		
概要	令和3年度から協力している株式会社ガルテンと観光庁「ワーケーション推進事業」の予算を活用して、9月からの事業開始で計3回、3泊4日の親子ワーケーションモデルツアーを実施した（第1回11/29～12/1、第2回1/5～1/8、第3回1/23～1/26）。		
実施詳細 成果	<p>親子ワーケーションの取り組みをはじめ村内の子ども向け体験プログラム等の造設をすることができた。また、ライカム5階にコワーキングスペースを有している株式会社マッシュグラ沖縄タイムス協力のもと地域関係者を巻き込んだワークショップを実施することもできた。ワークショップの中では、北中城村における親子ワーケーションに利点と改善点が抽出され、今後の事業展開においてのヒントを多く得られた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑ 地域の子供たちとの交流の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑ やちむん体験の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑ ワークの様子</p> </div> </div>		
連携 事業者等	Cotonowa、sui.、安座間珈琲農園、米須三線店、株式会社マッシュグラ沖縄タイムス、株式会社ガルテン、北中城村（企画振興課、教育総務課、文化振興課）、北中城村高校、琉球大学ワーケーション研究会		
課題	今後、自走化に向けて価格設定及び商品販売経路の確保が課題である。		

項番	5 - (1)		
事業名	北中城村観光協会評価アンケート		
期間	令和5年2月27日～令和5年3月15日		
収支	支出	6,636円	収入 0円
担当	原口		
目的	北中城村観光協会会員の意見を協会業務に反映し、事業の改善を図る。		
概要	年に一回会員向けに観光協会評価アンケートを実施する。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート期間：令和5年2月27日～令和5年3月15日 ・アンケート回答数：28回答（昨年度：21回答） ・「観光を通じた地域の発展」への評価 肯定的評価 52.7%⇒85.7% 否定的評価 15.8%⇒3.5% ・「取り組んでいる事業」への評価 肯定的評価 52.6%⇒85.7% 否定的評価 10.6%⇒0% ・「会員への情報共有、会員への説明責任」への評価 肯定的評価 52.7%⇒64.3% 否定的評価 21.1%⇒7.1% ・評価された事業は、「情報発信」や「イベント」に関することが多い。 ・「イベント」「マーケティング」「会員・地域間連携」「オリジナル商品等開発」への期待が向上した。 		
連携 事業者等	なし		
課題	「会員への情報共有、会員への説明責任」を強化し、期待される事業に積極的に取り組む。		

項番	5 - (2)	
事業名	会報誌発行	
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
収支	支出 9,248円	収入 0円
担当	原口	
目的	会員の皆様にご協会の活動を知っていただき、協会と会員とのコミュニケーションを促進する。	
概要	隔月で会報誌を発行する。	
実施詳細成果	<p>令和4年7月から計4号発行した。</p> <p>会員と協会をつなぐ 北中城村観光協会会報誌</p> <p>Team KITANAKA 第4号 2023.7月</p> <p>北中城村農水産物フェア出版 「おもしろい」「おもしろい」の言葉、イベントから地域の魅力を発信し、地域活性化に貢献する。この会報誌は、北中城村観光協会が主催する「北中城村農水産物フェア」の開催に合わせて発行される。この会報誌は、地域の魅力を発信し、地域活性化に貢献する。この会報誌は、地域の魅力を発信し、地域活性化に貢献する。</p> <p>観光ツアーシーズン本格スタート! 12月から実施していましたが、2月にわたる観光ツアーシーズン本格スタート。この会報誌は、観光シーズンの始まりを告げる。この会報誌は、観光シーズンの始まりを告げる。この会報誌は、観光シーズンの始まりを告げる。</p> <p>ウェルネスモーターリングツアー実施 ウェルネス推進委員会のコンテナーとして、1月9日に中城村で実施された。この会報誌は、ウェルネス推進委員会の活動を紹介する。この会報誌は、ウェルネス推進委員会の活動を紹介する。この会報誌は、ウェルネス推進委員会の活動を紹介する。</p> <p>北中城村初のコスプレイベント開催予定! 令和4年7月(日)に北中城村で実施される。この会報誌は、コスプレイベントの開催を告知する。この会報誌は、コスプレイベントの開催を告知する。この会報誌は、コスプレイベントの開催を告知する。</p> <p>高小小学校へのノベルティ贈呈式実施 北中城村観光協会が、高小小学校にノベルティを贈呈した。この会報誌は、贈呈式の様子を紹介する。この会報誌は、贈呈式の様子を紹介する。この会報誌は、贈呈式の様子を紹介する。</p> <p>観光客満足度アンケート開始 北中城村観光協会の観光客満足度アンケートを開始した。この会報誌は、アンケートの結果を紹介する。この会報誌は、アンケートの結果を紹介する。この会報誌は、アンケートの結果を紹介する。</p> <p>北中城村観光協会 入会のご案内 TEL: 099-2330-1111 (受付時間: 9:00~17:00)</p> <p>発行：一般社団法人北中城村観光協会</p>	
連携事業者等	なし	
課題	継続して発行していく。	


項番	5 - (3)			
事業名	グッジョブ地域連携協議会等への協力			
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
収支	支出	0円	収入	0円
担当	米須、高橋			
目的	沖縄県及び北中城村の人材育成に貢献する。			
概要	<p>■高度人材育成インターンシップ受け入れ 具志川高校から1名生徒の受け入れをした。北中城村の観光地の探索及び仕事内容の説明等を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑レクチャーの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑SNS投稿記事作成の様子（中村家にて）</p> </div> </div> <p>■琉球大学「地域企業（自治体）お題解決プログラム」協力 琉球大学と北中城村包括連携協定に基づき実施する公開授業「地域企業（自治体）お題解決プログラム」の開催にあたり、北中城村の観光資源及び観光課題についての授業の実施、フィールドワークのサポートをした。 北中城村役場の職員と共にオンライン授業を3回（6科目）実施した。オンライン授業実施後は、村内の主要箇所をめぐるフィールドワークを実施した。フィールドワークでは、観光協会事務所の説明とスタジオキタナカの説明を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑スタジオキタナカの紹介様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑フィールドワークの様子</p> </div> </div>			

	<p>■北中城高校での講和 北中城高校に向けて観光協会の事業説明を行った。また、北中城村における観光の位置づけやキャリア教育の一環として職員のキャリアについても講話を行った。</p>  <p>■キャリア教育フォーラム登壇 北中城村グッジョブ地域連協議会主催の事業周知及び事業参画を目的とした「北中城村キャリア教育フォーラム2022」に登壇をした。</p>  <p>■小学生インターンシップ受け入れ 北中城小学校6年生3名に向けて観光協会の仕事内容の説明を行った。また実際の事業であるSNSの情報発信についてレクチャーを行い未来の観光産業の担い手となる人材育成に協力をした。</p> 
実施詳細 成果	当事業を通して観光産業の現場について話をする機会を設けることができた。また、観光産業に関心のあるユース層と話をする事ができ将来の観光産業従事者の育成の入り口に貢献できた。
連携 事業者等	琉球大学、グッジョブ地域連携協議会
課 題	生徒・学生との北中城村観光の発展における継続的な連携について検討し、実施していく必要がある。

項番	5 - (4)		
事業名	地域通貨販売窓口事業		
期間	令和4年6月1日～令和5年2月28日		
収支	支出	0円	収入 1,727,653円
担当	米須		
目的	北中城村内の対象店舗で利用する事が出来る電子商品券の販売窓口として、電子通貨商品券販売、事業のPR協力を行う事で地域経済活性化へ貢献する。		
概要	令和4年6月1日～令和5年1月31日までの期間、電子商品券のチャージ及び販売の窓口を北中城村観光協会事務所に窓口を設け、問合せ対応や窓口対応業務を行った。		
実施詳細 成果	<p>■チャージ受付期間：令和4年6月1日～令和5年1月31日</p> <p>■商品券利用可能期間：令和4年6月1日～令和5年2月28日</p> <p>1口/1000円でチャージが可能</p> <p>観光協会窓口での総チャージ数：計62,793口</p>  		
連携 事業者等	沖縄広告株式会社		
課題	紙媒体の商品券と異なり電子商品券となっているので、利用者側も店舗側からの活用方法や対応方法に関する問合せが多かった。また、システムエラー時には問合せも相次ぐこともあった。販売窓口として、分かりやすい案内を心がけていく必要がある。		

項番	5 - (5)		
事業名	北中城村民ゴミ袋配布に伴うオリジナル段ボール制作事業		
期間	令和4年12月1日～令和5年1月31日		
収支	支出	895,950円	収入 1,232,000円
担当	米須		
目的	北中城村の事業と連携し、地域へ貢献するとともに、自主財源の開発を行っていく。		
概要	北中城村及び関係事業者と連携しあい、北中城村指定のゴミ袋が入る大きさ・デザインを調整しオリジナル段ボール制作の調整業務を行った。		
実施詳細 成果	<p>北中城村オリジナル段ボール制作 100サイズ／7,700個</p>    		
連携 事業者等	郵送：日本郵便株式会社 段ボール制作：株式会社ミヤギパッケージ 北中城村特定ゴミ袋制作：株式会社 チェリーペーパー		
課題	新型コロナ禍の支援予算を活用した事業なので継続的に行う事が難しい。		

III 事業実施体制

項 番	1 - (1)		
事業名	理事会		
期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収 支	支出	56,600 円	収入 0 円
担 当	原口、五十嵐、又吉		
目 的	定款第 33 条に定める事項を審議する。		
概 要	年 4 回の理事会を開催した。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 4 年 5 月 30 日：令和 3 年度第 4 回 主な議題：総会について ・ 令和 4 年 8 月 30 日：令和 4 年度第 1 回 主な議題：事務局長について ・ 令和 4 年 12 月 21 日：令和 4 年度第 2 回 主な議題：令和 5 年度組織体制について ・ 令和 5 年 3 月 24 日：令和 4 年度第 3 回 主な議題：令和 5 年度事業計画について 		
連携 事業者等	なし		
課 題	引き続き適切な法人運営を行う。		

項番	1 - (2)		
事業名	経営会議		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	0円	収入 0円
担当	原口、五十嵐、又吉		
目的	理事会とは別に、会長・副会長等による毎月の経営会議を設けることで、迅速な経営判断を行う。		
概要	原則として毎月第4金曜日の15時から年12回実施した。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回：4月28日 ・第2回：5月27日 ・第3回：6月24日 ・第4回：7月22日 ・第5回：9月8日 ・第6回：9月29日 ・第7回：10月28日 ・第8回：11月29日 ・第9回：12月27日 ・第10回：1月27日 ・第11回：2月28日 ・第12回：3月17日 <p>・主な議題 新規入会について、主要な事業の実施方法について、理事会審議事項の調整について等</p>		
連携 事業者等	なし		
課題	引き続き適切な法人運営を行う。		

項番	1 - (3)		
事業名	人材育成		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	275,900円	収入 0円
担当	原口		
目的	人材育成強化により職員の成長を促し、職員の成長と組織の成長を両輪として、マーケティングやマネジメントといった高度な業務を効果的に遂行する強固な組織体制を構築する。		
概要	外部研修・セミナー等へ積極的な参加を行った。		
実施詳細 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県「沖縄観光キャリアカレッジ」(6月～12月)：米須、荒川、禰覇、高橋、井上 ・OCVB「観光協会・DMOセミナー」(7月～9月)：又吉、五十嵐 ・京都大学「DESTINATION MANAGEMENT ESSENCE 2022」(7月～12月)：原口 ・沖縄総合事務局「地域ブランド構築プロデューサー育成スクール」(8月～11月)：原口、五十嵐 ・外部企業出向(12月～3月)：與座 ・DMOセミナー～宿泊連携からコンテンツ造成～(7月)：高橋 ・地方創生テレワーク推進セミナー(7月)：高橋 ・渡航再開に向けた訪日最新動向とこれから取り組むべき事業・活用ポイント紹介セミナー(7月)原口 ・Inter BEE 2022(11月)：福本、米須、與座 ・リゾテック EXPO(11月)：高橋、井上 ・観光計画高度化セミナー(11月)：原口 ・持続可能な観光を推進する地域同士のネットワーキングセミナー(11月)：五十嵐 ・UPDATE with howlive 2022(12月)：高橋、井上 ・うるま市観光協会観光闘牛(12月)：五十嵐、高橋 ・ドローンセミナー・ロケ受入連絡会(2月)：福本・與座 		
連携 事業者等	なし		
課題	研修・セミナー等で得られた知見を、事業や地域に見えるように還元していく。		

項番	1 - (4)		
事業名	DMO 登録		
期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
収支	支出	0円	収入 0円
担当	原口、五十嵐、又吉		
目的	地域内外での調査・調整機能を強化し、観光を通じて地域全体として利益を生み、地域を活性化するため、観光庁を始めとした関係省庁による各種支援メニューの提供や総合的なアドバイス等を受けることができる観光庁公認のDMO（観光地域づくり法人＝デスティネーション・マネジメント／マーケティング・オーガニゼーション）への登録を目指す。		
概要	令和4年10月28日付で候補DMOへ登録された。		
実施詳細 成果	<div data-bbox="416 869 895 1290" data-label="Image"> </div> <p>(令和4年11月27日付琉球新報)</p>		
連携 事業者等	なし		
課題	<p>3年以内に正式登録要件を満たし、正式登録を目指す。</p> <p>申請時に不足していた主な要件は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な関係者の合意形成 ・各種データの収集・分析 ・データに基づく明確なコンセプトを持った戦略の策定 ・KPIの設定 ・戦略の共有 		

項番	2 - (1)																				
事業名	事務局運営体制																				
期間	通年																				
収支	支出	35,255,370 円	収入 32,468,350 円																		
担当	原口																				
目的	財政基盤の確立に努めるとともに、事務事業の効率化や合理化による経費節減を図りながら、安定した財政運営・健全な法人運営を行う。																				
概要	<p>(1) 現体制</p> <p>①事業責任者 原口 達樹 (事務局長) 五十嵐 秀典 (チーフマネージャー)</p> <p>②事業担当者 米須 壱成 (マネージャー) 福本 偉予里 (マネージャー/スタジオキタナカ担当) 荒川 詩菜 (事務員) 禰覇 音 (事務員) 高橋 海奏 (事務員) 井上 恵美 (事務員) 與座 瑠斗 (事務員)</p>																				
実施詳細成果	<p>(1) 採用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>役職</th> <th>採用日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>禰覇 音</td> <td>事務員</td> <td>令和4年4月1日</td> </tr> <tr> <td>五十嵐 秀典</td> <td>マネージャー</td> <td>令和4年7月1日</td> </tr> <tr> <td>與座 瑠斗</td> <td>事務員</td> <td>令和4年9月1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 退職</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>役職</th> <th>退職日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>又吉 演</td> <td>事務局長</td> <td>令和4年9月30日</td> </tr> </tbody> </table>			氏名	役職	採用日	禰覇 音	事務員	令和4年4月1日	五十嵐 秀典	マネージャー	令和4年7月1日	與座 瑠斗	事務員	令和4年9月1日	氏名	役職	退職日	又吉 演	事務局長	令和4年9月30日
氏名	役職	採用日																			
禰覇 音	事務員	令和4年4月1日																			
五十嵐 秀典	マネージャー	令和4年7月1日																			
與座 瑠斗	事務員	令和4年9月1日																			
氏名	役職	退職日																			
又吉 演	事務局長	令和4年9月30日																			
連携事業者等	なし																				
課題	チーム制が機能しなかった面に対処するため、5年度からは担当制へと戻し、より効率的・効果的な事業遂行を行う。																				

IV 収支決算

(1) 収支決算

令和4年（2022年）度 北中城村観光協会収支決算				
【収入の部】				
分類	項目名	決算	予算	備考
補助金収入	北中城村観光協会運営補助金	14,000,000	14,000,000	
事業収入		70,134,666	68,096,550	
	観光プロモーション事業	47,906,200	51,200,800	人員採用遅れにより減額
	地域おこし協力隊活動支援業務	457,421	1,492,000	途中退職により減
	葛巻町合同物産展	-	-	未開催
	プレミアム商品券販売交換金業務	1,727,113	933,750	キャンペーン対応等により増額
	きたホ商品販売	-	1,500,000	オンラインショップ公開が3月17日のため売上なし
	ウェルネスツーリズム推進業務	5,341,500	-	
	八重瀬町観光協会コンサル業務	970,000	970,000	
	ふるさと納税返礼品業務	591,500	-	
	その他自主事業収入	13,140,932	12,000,000	スタジオリ利用、公募事業等
会費収入		612,500	700,000	
雑収入	雑収入（銀行利息等）	1,205,941	100	事業復活支援金等
	合計	85,953,107	82,796,650	
【支出の部】				
分類	項目名	決算	予算	備考
人件費		35,255,370	39,222,273	
	職員：給与	26,096,361	28,035,948	
	職員：賞与	4,508,880	6,120,000	途中退職者（補充なし）及び採用遅れにより減
	職員：法定福利	4,650,129	5,066,325	
福利厚生	福利厚生	589,653	470,000	
販売費及び一般管理費		44,617,095	36,642,000	
	役員報酬	299,000	317,000	
	外注費	26,679,052	14,000,000	観光庁公募採択等により増
	仕入高	323,469	1,250,000	オンラインショップ仕入れがないことにより減
	研修費	275,900	1,000,000	無料の研修を活用したため減
	広告宣伝費	108,501	1,000,000	広告強化遅れにより減
	交際費	190,940	150,000	
	通信運搬費	628,388	1,000,000	
	水道光熱費	305,065	480,000	
	賃借料	5,357,478	4,200,000	イベント出展料、会場使用料等により増
	旅費交通費	1,485,499	800,000	県外イベント人員強化等により増
	修繕費	22,330	300,000	
	消耗品費	2,464,770	4,000,000	新規職員採用での机購入等を見送りにより減
	燃料費	46,079	-	地域おこし協力隊一部延長により増
	諸会費	275,275	365,000	
	地代家賃	3,273,200	4,480,000	きたホ廃止の影響が大きかったことにより減
	保険料	240,735	400,000	
	支払手数料	1,856,196	1,900,000	
	支払報酬料	287,400	400,000	
	会議費	345,489	500,000	
	新聞図書費	78,669	100,000	
	雑費	73,660	-	
減価償却費		298,644	-	
雑損失		1,497,000	-	きたホ撤去費用の経理上の処理のため（実損失はなし）
租税公課		2,543,807	4,000,000	法人税、消費税等
	合計	84,801,569	80,334,273	